

みずほフィナンシャルグループ

第32回 | 成人の日コンサート2021

表紙

カール・フリードリヒ・シンケル (1781-1841)  
『魔笛』～「夜の女王の星の広間」舞台画

みずほフィナンシャルグループ

第32回 | 成人の日コンサート 2021

# Greeting

本日は「みずほフィナンシャルグループ 第32回成人の日コンサート」に

お越しいただき、誠にありがとうございます。

また、新成人の皆さまには心よりお祝い申し上げます。

皆さまと共に、今年も成人の日コンサートを迎えることができ、大変嬉しく思います。

限られた時間ではありますが、感謝の想いを込め、コンサートをお届けいたします。

どうぞ、心ゆくまでお楽しみください。

🌀 2021年1月11日(月・成人の日) 14:00開演 サントリーホール 🌀

Part 1

Promising Artist

サラサーテ:チゴイネルワイゼン

— Zigeunerweisen —

Part 2

至福のモーツァルト

60分の魔笛  
Die Zauberflöte

主催

株式会社みずほフィナンシャルグループ

TOKYO FM

## Promising Artist

### サラサーテ：チゴイネルワイゼン

P.D.サラサーテ(1844—1908)は、イタリアのパガニーニと並び称される19世紀スペインが生んだ大ヴァイオリニストであり、自らが演奏するために至難な演奏技巧を駆使した華々しいヴァイオリン曲の数々を作曲している。そして、サラサーテの代表作として人気を集めているこの『チゴイネルワイゼン』は、ハンガリーの流浪の民であるジプシーの音楽に取材したヴァイオリン曲であり、ヴァイオリンのブリリアントで超絶的なテクニックの数々が展開されていくなかに、生々しい情熱や憂いに満ちた抒情をふんだんに湛えた傑作になっている。この作品は、3つの部分から構成されているが、叙事的な第1部は、激しい情熱がたぎっている。第2部では、センチメンタルな旋律が切々と歌い継がれていき、特に技巧的な第3部では、ヴァイオリンが急速に駆け回り、熱狂的なクライマックスを築き上げる。

〈柴田龍一〉

### 大関万結 ヴァイオリン

Mayu Ozeki 2000年1月27日生まれの20歳。2017年第86回日本音楽コンクール第1位、併せて岩谷賞(聴衆賞)、レウカディア賞、鷺見賞、黒柳賞、全部門を通じて最も印象的な演奏に贈られる増沢賞を受賞、さらに18年東京都知事賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞し圧倒的な存在感を示した注目すべきヴァイオリニスト。3歳よりヴァイオリンを始める。篠崎史紀、岩崎裕子の各氏に師事。2013年 第67回全日本学生音楽コンクール中学校の部全国大会第1位、併せて東儀賞・兎東賞受賞。桐朋女子高等学校音楽科を首席で卒業。現在ロームミュージックファンデーション奨学生として、ウィーン私立音楽芸術大学で研鑽を積んでいる。

©Shigeto Imura



# 至福のモーツァルト 60分の魔笛 Die Zauberflöte

モーツァルト：オペラ「魔笛」より演奏会形式

作曲：ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 台本：ヨハン・エマヌエル・シカネーダー

『魔笛』は、モーツァルトのオペラのなかでも最高傑作としての位置付けを確立している特別な作品である。まさにモーツァルトの英知の数々が結晶したといえる創作であり、そこでは、前代未聞の多種多様な音楽様式が統合され、それが違和感なく完全に融合している。

貴族のためのものだったオペラを、大衆劇場で上演され市民を楽しませるために書かれた『魔笛』の音楽は、有名な夜の女王の超絶技巧の復讐の Aria あり、パパゲーノが歌う民謡のような「おいらは鳥刺し」や「パ・パ・パ」あり、僧侶たちの厳肅な宗教曲ありと、様々な音楽を聴く喜びを提供している。

彼の円熟のクライマックスに達した変幻自在な筆致とその魅力をたっぷりと味わえ、芸術作品としてのレベルの偉大さを痛感せずにはいられない3時間あまりのこの作品は、この公演では語りの入るハイライトの約60分の演奏会形式で上演されるが、それは、モーツァルトの音楽のエッセンスと言うに相応しいものであり、聴き手に至福のモーツァルトを堪能させてくれることになるだろう。

〈柴田龍一〉

## Cast

モーツァルト(語り) 浦井健治<俳優>	パパゲーノ 加来 徹<バリトン>	第2の侍女 宮澤彩子
夜の女王 高橋 維<ソプラノ>	パパゲーナ 横森由衣<ソプラノ>	第3の侍女 金子美香
タミーノ 大田 翔<テノール>	ザラストロ ジョン ハオ<バス>	モノスタトス 升島唯博
パミーナ 吉原圭子<ソプラノ>	第1の侍女 中村洋美	

## 構成台本・演出

田尾下哲
指揮 園田隆一郎
管弦楽 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
合唱 「成人の日コンサート2021」特別合唱団

## STORY — 時と場所：古代、エジプト架空の世界

### 第1幕

大蛇に追われて逃げてきた王子タミーノは気絶して倒れる。夜の女王に仕える3人の侍女達が現れ大蛇を退治して美しい王子を眺める。3人はそろって夜の女王に報告に行く。そこに陽気なパパゲーノがやっ来て助けてやったのは自分だと嘘をつくが侍女達に嘘をついた罰に口に錠前をはめられてしまう。王子タミーノは、侍女達から女王の娘パミーナの絵姿を見せられ一目惚れ。突然雷鳴が鳴って夜の女王が現れ、悪人ザラストロに捕らえられた娘を救い出してくれれば、娘を王子に与えると約束する。王子は侍女達から「魔法の笛」を受け取りザラストロの神殿に行くことにし、一方、口の錠前を外してもらえたパパゲーノも成り行きで王子について行くことになり、「銀の鈴」を受け取る。神殿でパパゲーノが先にパミーナを見つける。魔法の笛と鈴の力で導き合ったタミーノとパミーナは、ザラストロの前でついに対面。お互いを運命の人だと思う。実はザラストロは偉大な高僧で、夜の女王の邪悪な野望の犠牲とならないようにパミーナを保護していたのだ。

### 第2幕

ザラストロはタミーノに、パミーナを得るための試練を授ける。ついでにパパゲーノも恋人を得るために試練を受けることになる。まずは「沈黙」の試練。沈黙するタミーノにパミーナはタミーノが心変わりしたと勘違いして悲しむが耐え抜く。次の「火」の試練、「水」の試練は、タミーノとパミーナの二人で「魔法の笛」の力を借りて乗り越える。一方のパパゲーノは「銀の鈴」の力を借りて可愛い娘パパゲーナと出会い恋人になる。そこに夜の女王と侍女達が元ザラストロの配下の男モノスタトスと攻め込んでくるが雷に打たれ闇夜に落ちていく。ザラストロは試練に打ち勝ったタミーノとパミーナを祝福し、このオペラの幕となる。

## 演奏曲

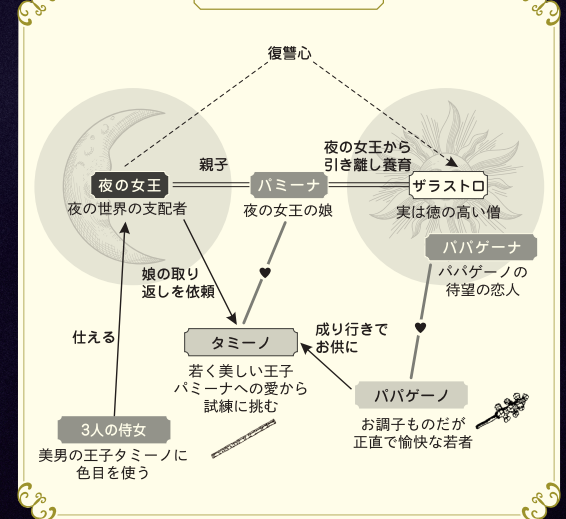
### ACT 1

助けてくれ! …………… タミーノ、3人の侍女  
おれは鳥刺し …………… パパゲーノ  
何と美しい絵姿 …………… タミーノ  
ああ、恐れおののくなくてもよいのです、若者よ! …… 夜の女王  
フム! フム! フム! …… タミーノ、パパゲーノ、3人の侍女  
愛を感じる男の人達には …………… パミーナ、パパゲーノ  
フィナーレ

### ACT 2

復讐の心は地獄のように我が心に燃え…………… 夜の女王  
聖なる神殿に復讐心を抱く人なし…………… ザラストロ  
愛の喜びは露と消え…………… パミーナ  
恋人か可愛い女房が一人…………… パパゲーノ  
私達は燃えさがる炎を抜けて進んだ…パミーナ、タミーノ、合唱  
パ・パ・パ…………… パパゲーノ、パパゲーナ  
フィナーレ

## 登場人物関連図





浦井 健治  
俳優  
モーツァルト（語り）

*Kenji Urai*

TV「仮面ライダークウガ」でデビュー。2004年『エリザベート』ルドルフ皇太子役に抜擢。以降、ミュージカル、ストレートプレイ、映像作品と幅広いジャンルの作品に出演し、数々の演劇賞を受賞。舞台以外にも、ソロコンサートやラジオパーソナリティーを務めるなど、多彩な活動を展開している。



高橋 維  
ソプラノ  
夜の女王

*Yui Takahashi*

東京藝術大学大学院修了。五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。ウィーンで研鑽を積む。『魔笛』夜の女王役、『ナクソス島のアリアドネ』ツェルビネッタ役など、様々なプロダクションで主演、活躍。メディアにも多数出演し注目を集めている。二期会会員



加来 徹  
バリトン  
パパゲーノ

*Toru Raku*

東京藝術大学大学院を首席で修了。二期会研修所を総代で修了。修了時最優秀賞および川崎静子賞受賞。バッハコレギウムジャパン声楽メンバー。日生劇場『ドン・ジョヴァンニ』題名役などオペラに多数出演。洗足学園音楽大学非常勤講師。二期会会員



横森由衣  
ソプラノ  
パパゲーノ

*Yui Yokomori*

神奈川県出身。東京藝術大学声楽科、同大学院オペラ専攻修了。第35回飯塚新人音楽コンクールにて第2位、二期会オペラ研修所第61期マスタークラス修了時に優秀賞受賞。2021年2月『タンホイザー』4人の小姓役にて出演予定。二期会会員



大田 翔  
テノール  
タミーノ

*Sho Ota*

東京藝術大学大学院修士課程オペラ専攻修了。『愛の妙薬』ネモリーノ役、『椿姫』アルフレード役のほか、『ピアフ』モンタン役、『ウェストサイド物語』トニー役等で多くの舞台に出演。ヴォーカル・デュオ《SiriusS》のメンバーとして活動中。



吉原 圭子  
ソプラノ  
パミーナ

*Keiko Yoshikara*

洗足学園大学卒業。ミラノおよびフランス、パリ市立シャトレ劇場にて研鑽を積む。2005年新国立劇場主催『ホフマン物語』オランピア役にてデビュー。その後も同劇場に多数出演のほか、びわ湖オペラ、サントリーホールオペラ等に出演。二期会会員



ジョン ハオ  
バス  
ザラストロ

*Zhong Hao*

中国出身。東京藝術大学大学院修了。第38回イタリア声楽コンクール第1位。『ラ・ボエーム』コッリーネ役でオペラデビュー。胡錦濤国家主席を迎えた晩餐会にて演奏するほか、2012年二期会『ナブッコ』ザッカーリア役で高く評価された。二期会会員





中村洋美  
第1の侍女

*Hiromi Nakamura*

東京音楽大学大学院オペラ科修了。第41回イタリア声楽コンコロソ金賞。第2回ジュリアード音楽院声楽オーディションにて奨学金授与。NYやミラノにて研鑽。オペラでは文化庁事業公演『魔笛』ダミー役、他多数出演。二期会会員



宮澤彩子  
第2の侍女

*Ayako Miyazawa*

東京学芸大学G類声楽専攻卒業。東京藝術大学大学院オペラ科修了。これまで『ファルスタッフ』『イドメネオ』『子どもと魔法』『リゴレット』『魔笛』等出演。2021年東京二期会オペラ劇場『魔笛』に出演予定。二期会会員



金子美香  
第3の侍女

*Mika Kaneko*

東京音楽大学大学院修了。二期会「ワルキューレ」でデビュー後、新国立劇場、日生劇場、びわ湖ホール、東京・春・音楽祭などに出演。2018年には世界最高峰のバイロイト音楽祭『ワルキューレ』に出演という快挙を成し遂げた。二期会会員

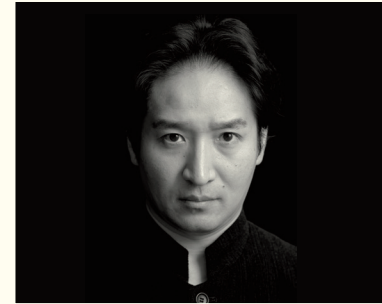


升島唯博

モノスタス  
(元ザラストロの配下の男)

*Tadahiro Masujima*

エリザベト音楽大学卒業。2001年から2014年までドイツに留学。ドイツをはじめヨーロッパ各地の歌劇場でオペラのソロ歌手として活動。国内では新国立劇場、小澤征爾音楽塾、東京二期会等で小澤征爾、宮本亞門など著名な指揮者演出家と共演。二期会会員



田尾下哲 構成台本・演出

*Tetsu Taoshita*

1972年兵庫生まれ、横浜育ち。第20回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。ドイツ人演出家ミハエル・ハンペに西洋演劇、演出を学ぶ。近年の演出作はオペラでは日生劇場『ルチア』、共同オペラ『カルメン』、神奈川県民ホール『金閣寺』、あいちトリエンナーレ『蝶々夫人』、二期会『カヴァレリア／道化師』など、歌舞伎『雪螢恋乃滝』がある。今後もオペラ、ミュージカル、芝居の演出のほか、海外での劇作が控えている。

園田隆一郎 指揮

*Ryuichiro Sonoda*

2006年シエナのキジアーナ夏季音楽週間「トスカ」でデビュー。翌年、藤原歌劇団「ラ・ボエーム」で日本デビュー。同年夏ROF「ランスへの旅」を指揮。以降国内外のオペラ公演やオーケストラとの共演を重ねている。オペラと交響曲の両分野で活躍する指揮者の一人である。2004年シエナ・ロータリークラブ カルロ・コルシーニ音楽賞、2005年第16回五島記念文化賞オペラ新人賞、2017年度第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。藤沢市民オペラ芸術監督。



東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

*Tokyo City Philharmonic Orchestra*



1975年設立。常任指揮者に高関健、首席客演指揮者に藤岡幸夫、桂冠名誉指揮者に飯守泰次郎を擁する。年間100回を超える公演は、定期演奏会・特別演奏会を柱にオペラ、バレエ公演、テレビ朝日「題名のない音楽会」といったテレビ出演など多岐にわたる。1994年から東京都江東区と芸術提携を結び、ティアラこうとうを主な拠点として地域に根ざした音楽文化の振興を目的に幅広い活動を行っている。

# Message

「成人の日コンサート」は、若手アーティストの支援と次世代を担う青少年へのクラシック音楽の普及を目的に開催しており、今年で32回目を迎えます。

これまでに、約50名の若手アーティストがこのステージに立ち、  
今では世界を舞台に幅広く活躍されています。

また、日本の伝統芸能とクラシック音楽の組み合わせなど、趣向をこらした演目を披露し、クラシック音楽に馴染みの少ない方々にも気軽に楽しんでいただきたいと思いますと考えております。

今後もみずほフィナンシャルグループは、成人の日コンサートを通じ、文化・芸術の発展に貢献してまいります。

